

しが高齢者家事サポート事業

くらし安心倶楽部

シニア世代の人々がお互いに助けたり、助けられたりしながら地域の中でいきいきと生活していくことを進めるシステムです。

★サポート一覧

サポート内容	謝礼/1時間
掃除・洗濯 日常使う部屋の掃除、定期的な掃除（窓ガラス、床ワックスがけなど）洗濯機でできる洗濯、干す、取り入れ	600円 （洗剤等は依頼者が準備）
買い物 マーケットなど買い物同行、代行	600円 （自家用車利用の場合700円）
役所手続 必要書類などをもってくる。必要に応じて送迎する。	600円 （自家用車利用の場合700円）
庭木の手入れ 庭木の剪定、草取り、水やりなど	700円
電気部品の取換え 照明器具など簡単なものに限る。電球・管球・電池の取換えなど	700円 （部品代別途）
障子の張替え 張り替え	700円 （材料代別途）
送迎 同伴をともなう通院、銀行、郵便局、役所、買い物、講演会など 依頼者の居住地近辺の範囲に限る	700円
生きがいづくり 話し相手、囲碁の相手などは無償 パソコン指導など	700円

①謝礼の1時間は、作業開始から終了までの所要時間をいう。
 ②電池の取替えなど容易なものは部品実費のみとし謝礼はない。
 ③部品購入は実費とし、自家用車を使用しての送迎のガソリン代は謝礼に含まれる。

会員募集中

【依頼会員】

★ 家事サポートをお願いしたい人
 県内在住の60歳以上の独居
 または夫婦のみの世帯の方

- 庭の草木がだいふ伸びてきたけどひとりするのは大変...
- 掃除はしているのだけど行き届かなくて...
- ちょっとそこの銀行まで行きたいのだけど
- きょうは足の調子が悪くて...

など

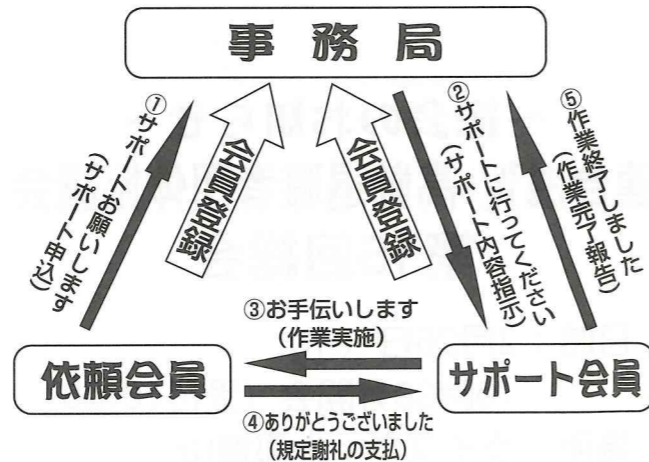
【サポート会員】

★ 家事サポートできる人
 県内在住の原則60歳以上の方

- 何か役に立つことをしたい
- 時間を有効に使いたい
- 地域に仲間の輪を広げたい
- 培ってきた経験を生かしたい

など

くらし安心倶楽部のしくみ



【依頼会員】 家事サポートをお願いしたい人
 【サポート会員】 家事サポートできる人
 ※お問い合わせは、滋賀県労働者福祉協議会内「くらし安心倶楽部」まで(TEL077-524-6290)

りりしっしんしん 滋賀

第27号 2009.1.30
 発行所:連合滋賀・高退協
 発行責任者:吉川 浩次
 編集責任者:山崎 長榮
 大津市松本2丁目-10-6
 TEL 077-523-0500
 FAX 077-523-5600

高齢期を心豊かに生きるため 政権交代と政策転換の実現を!



年頭のごあいさつ

連合滋賀・高退協会長
吉川 浩次

明けましておめでとうございます。
 連合滋賀高齢退職者団体協議会の会員の皆様におかれましては、ご家族ご一同様ともよき新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

この一年間、連合滋賀高退協の諸活動に対し構成組織、会員各位の深いご理解とご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

目出度さも例年の半分くらいの丑年が始まりました。昨年9月の米国大手証券会社リーマンブラザーズの経営破綻から始まった、100年に一度ともいわれる世界的不況の最中であって、日本においても非正規労働者の解雇や契約破棄により、全国で85,000名の失業者が出、滋賀県においても近畿で最悪の2,463名に達しました。これからの日本には、安定した雇用システムの再構築が不可欠であると思われまます。

日本高齢・退職者団体連合は、昨年来、後期高齢者医療制度の廃止や福

祉・介護予算など高齢者の生活に関わる政治状況に対し、団体署名活動や関係方面への請願行動をはじめ衆議院解散総選挙が予想されるなか必勝の願いで臨みましたが、実現するどころか逆に、麻生内閣は支持率低下に歯止めがかからない今、解散を先延ばしして9月の任期一杯まで時間を稼いで、その間に何とか支持率を回復しようとする魂胆が見え隠れします。

今、世界は最大の経済危機に飲み込まれ、社会不安が増大し先行き不安が高まるなかで、私たちは、これからも高齢期を心豊かに生きるため、年金、介護、医療制度などの改善をはじめ高齢者福祉の拡充と日本の社会保障制度の改善をめざして運動を進めなければなりません。そのために、現政権に終止符を打ち、政権交代と政策転換を実現させるため、今年9月までに必ず施行される衆議院総選挙に勝利しなければなりません。

連合滋賀高齢退職者団体協議会は来る2月26日に第15回定例総会を開催し向こう1年間の活動計画を審議し決定しますが、会員がお互いに助け合い、親睦交流を深め、高齢社会を生き抜き、後輩に道を作ることを目標に活動を進めます。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とします。

心が癒された楽しい一日

近畿の仲間と秋の鴨川ハイキング

京都・鴨川堤ハイキングに参加して

関電労組滋賀OB会 伊藤 茂

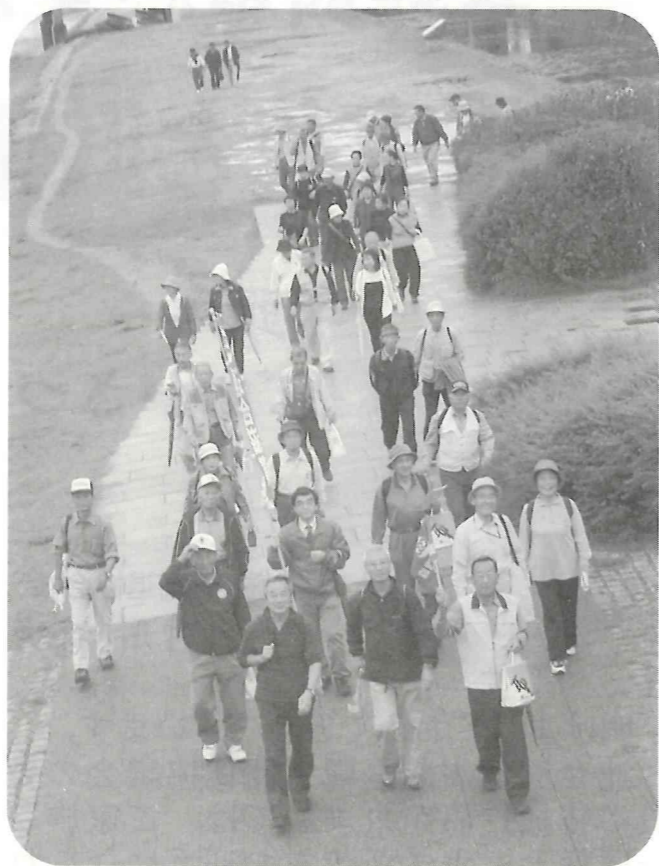
去る10月24日、恒例の「秋のハイキング」が京都高退協のお世話で開催されました。

当日は近畿圏各地から約950人（滋賀46名）が参加し、久しぶりの仲間との出会いがあちらこちらにあり賑やかでありました。

朝の雨模様もあがり、京都市役所前での出発式では、京都市長の歓迎挨拶と恒例の80歳以上の参加者（47名）への表彰がされ、滋賀が先頭で約4kmの鴨川堤コースをスタートしました。

私は、昭和57年頃に北大路近くの事業所に三年間勤務し、体力づくり等で鴨川堤コースをジョギングしたことで、久しぶりで懐かしい思いをしながら一步一步踏みしめながら、府立植物園迄歩きましたが、始めは先頭であったのが、着いた時は最終組になっており、体力の限界を痛切に感じました。

その後、旧京都と滋賀のメンバー9名と久しぶりの昼食会をして、昔話に花



が咲き、来年の和歌山での再開を約束し別れました。

体力的にはやや疲れましたが、心の癒された楽しいハイキングの一日でした。



滋賀県退職教職員協議会

現職世代に伝える体験記録集を制作中

今、吹き荒れる経済的危機状況は、次の世代を担う子ども達の学びや育ちの場へも大きく影響してきています。こんな時こそ、組合活動で築いてきた団結・連帯が重要です。

滋退教の活動は、年金や医療・教育をテーマに、現職組合員の活動と連携し、平和・政治・社会等の分野に意見発信し活動しています。毎年6月に総会を開催。86歳の人も参加され言動は生き生き健全です。また、新春懇談会は、



市議会議員も交え意見交流をし、大いに語り合います。

昨夏より「みんなで残そう、伝え合おう」と題した「地元発」の具体的な体験記録集を制作中です。戦争のこと、学校のこと、子ども達とのこと等、体験や思い出を記録として残し、現職世代に伝え、滋賀の教育に活かそうとするものです。

年三回「滋退教通信」を発行。貴重な情報源として期待されています。開設以来24年間続いている電話相談活動は全面協力に進めています。連合滋賀高退協のグラウンドゴルフ大会や近畿の仲間とのハイキングへの積極的参加も活動の幅が広がります。「見える滋退教運動」にしていこうと歩んでいます。

連合滋賀・高退協 幹事 清水明美 (滋賀県退職教職員協議会)

～総会のお知らせ～

連合滋賀・高齢退職者団体協議会 第15回総会

日時：2月26日（木）
10時30分開会（受付10:00）

場所：ライズヴィル都賀山
議題：①2008年度活動報告
②2009年度活動方針（案）
③その他

政権交代をめざしガンバります!!

<p>田島 一成</p> <p>たじま いっせい</p> <p>滋賀第2区予定候補者</p>	<p>川ばた 達夫</p> <p>かわ たつお</p> <p>滋賀第1区予定候補者</p>
<p>奥村 展三</p> <p>おくむら てんぞう</p> <p>滋賀第4区予定候補者</p>	<p>三日月 大造</p> <p>みかづき たいぞう</p> <p>滋賀第3区予定候補者</p>